

第461号 2012年7月1日

編集・発行

アカシア会

連絡先 アカシア会事務局

〒734-0005 広島市南区翠1-1-1
 広大附高アカシア会館
 TEL & FAX 082-253-5581

今回は 通算 544回 例会



母校3号館中学校校舎耐震改修工事終了
 左：校舎西側にエレベーターとスロープ設置、
 右上：廊下に段差解消のスロープと一段高い
 手すりを設置、右下：耐震補強用筋交い
 関連記事は3頁

平成24年度 アカシア会総会

日時：平成24年7月17日(火)午後6時30分
 場所：アンデルセン(本通)
 平成23年度事業・決算報告、監査報告
 平成24年度事業計画・予算案 他

月例会 今後の予定

8月例会：8月17日(金)午後6時30分
 場所：アンデルセン(本通)
 講師：瓜生原葉子氏(74回) 京都大学大学院薬学研究所研究員
 新卒102回生の皆様は会費千円。詳細は同封プリントで。

9月例会：9月18日(火)午後6時30分
 ※17日が祝日のため日程が通常と異なります。ご注意ください。
 場所：アンデルセン(本通)
 講師：永井 薫氏(76回) 株アルク [English Journal] 編集長

10月例会：10月16日(火)午後6時30分
 ※17日アンデルセン休館日のため日程が通常と異なります。
 場所：アンデルセン(本通)
 講師：湯崎英彦氏(75回) 広島県知事

11月例会：11月17日(土)午前11時
 場所：宮島グランドホテル有もと(廿日市市宮島町)
 講師：有本妙子氏(53回) 宮島グランドホテル有もと専務
 ※開催時間・会場が通常と異なります。ご注意ください。

12月例会：12月17日(月)午後6時30分
 場所：アンデルセン(本通)「忘年会」
 ピアノ演奏：高上恵里花氏(102回)

懇親会費は4,000円(81回以降の卒業生3,000円)
 アカシア会員なら参加自由。お気軽に直接会場にお越しください。

講師と演題は予定です。

ご予約ください

2012年10月9日発行
 へ向けて現在作成中!

「業種別索引」「思い出の写真」も掲載して
 います。同封の払込取扱票でお申込みください。

☎01300-4-13111
 「アカシア会」

7月末日までにお届けいただいているご住所が名簿に反映
 されますので変更のある方はお早めにお知らせください。

10月発行
 2013年版
 アカシア会
 会員名簿

定価 **3,600円**

第8回 原爆死没者・戦没者慰霊追悼の集い

日時：8月6日(月)午前9時から
 場所：広大学附属高校内「原爆死没者・戦没者慰霊碑」前



ご遺族のほか現役の附属生徒、卒業生などが
 参列して慰霊式典を執り行います。
 慰霊式の終了後9時45分から講堂にて「被
 爆体験を聞く会」を、38回生 中西 巖氏をお
 招きして開催します。多数ご参列ください。

Contents

3号館、総会・月例会案内、追悼の集い案内… 1	呉アカシア会、職域・クラブだより… 9
総会議事資料、常任幹事会、運営会費… 2	同期会だより… 10~12
友誼の御園(母校だより)… 3	訃報… 12
アカシア探検隊 的川泰宣氏(50回)… 4	釜石からの報告、東日本への関わり… 13
アカシア夜話(高級官僚を囲む会)… 6	アカシライブラリー、会報編集委員会… 14
いろいろアカシア情報、広島・東京アカシア会… 7	会員リレー、カップル、事務局だより… 15
近畿アカシア会、東海アカシア会… 8	6月例会レポート… 16

総会議事資料

平成23年度 アカシア会 収支計算書

自：平成23年4月1日～至：平成24年3月31日

会長 向井恒雄 幹事長 大方幸三 会計幹事 畑 秀樹 熊野留美子

■当年度会計の部

収入の部		支出の部	
会員運営会費	910,000	会報発行費	3,087,743
会員維持会費	35,000	名簿発行費	3,717,929
会員年会費	0	通信費	75,645
会員・準会員入会金	10,000	電話料	50,439
新卒者維持会費	1,990,000	旅費交通費	248,140
新卒者入会金	995,000	会議費	418,904
名簿販売収入	2,223,600	人件費	2,109,040
広告料収入	3,940,000	事務用品費	81,155
預金利息	581	母校宛寄付金	70,000
アカシア基金運用益	124,918	手数料	26,250
寄付金収入	132,874	追悼の集い諸経費	28,653
雑収入	40,440	雑費	20,956
事務受託費	360,000	器具備品費	0
その他の収入	0	維持費	63,000
基金売却益	0	その他の支出	141,301
		支出の部合計	10,139,155
収入の部合計	10,762,413	当年度剰余金	623,258
		合計	10,762,413

■剰余金の部

(単位：円)

前年度繰越額	1,287,434
当年度剰余金	623,258
差引翌年度繰越額	1,910,692

■アカシア基金の部

(単位：円)

前年度繰越額	26,700,000
当年度受入額	23,752,200
差引翌年度繰越額	50,452,200

監査報告書

上記収支計算書および財産目録につき監査の結果、適正に経理されていることを認めます。
平成24年5月11日 監事 高橋正光 監事 寒川起佳

■総会で審議予定の議案

◆平成23年度事業・決算報告

(1) 事業報告

・アカシア会報と名簿の発行

会報 平成23年7月 12,100部

平成24年1月 12,150部

名簿 平成23年10月 1,000部

・地域アカシア会の交流・連携強化

・会員データ調査

・その他

(2) 決算報告

(3) 監査報告

◆平成24年度事業計画・予算案

(1) 事業計画

・アカシア会報と名簿の発行

会報 平成24年7月 12,000部

平成25年1月 12,000部

名簿 平成24年10月 1,000部

・地域アカシア会の交流・連携強化

(2) 予算案(略)

常任幹事会報告

平成24年6月4日アカシア会館に於いて常任幹事会が開催された。向井恒雄会長(50回)の挨拶の後、以下の事項について、報告・審議した。

報告・依頼事項

①原爆慰霊祭について

8月6日学校の協力のもと月例会当番幹事により運営、開催する。

②事務局員の交替について

協議事項

①名簿広告への協力拡大について

新規の広告主の発掘に努力する。

②110周年記念事業について

市民参加を可能にした社会貢献型にし、来年1月に準備委員会を開き、同年7月から実行委員会を立ち上げる。

③運営会費納入のお願いを継続する。

④会報、名簿の各委員会のメンバーを強化する。学年幹事も機能するよう見直しを図る。

審議事項

①平成23年度事業報告、決算書(案)承認

②平成24年度事業計画、予算書(案)承認

今回から、従来の「アカシア基金の部」を、実態に合うよう「運営積立金の部」と「アカシア基金の部」に分け整理した。

最後に大方幸三幹事長(46回)が閉会の辞を述べられ散会となった。

「アカシア会の健全で永続的な運営」のために

運営会費納入のお願い

皆様ご存知の事と思いますが、一昨年の総会で承認いただきました。72回以前卒業の全ての皆様に一万円の運営会費をお願いしております。

まだ納入いただけていない会員の皆様、安定した運営体制を次世代に引き継いで行く為に、ご協力をお願いいたします。

学年幹事の方々を中心に、学年毎の納入率を上げていただきます様重ねてお願いいたします。

アカシア会会長 向井恒雄(50回)

卒業回別納入者数(2012年6月15日現在)

卒業回	現会員数	納入	卒業回	現会員数	納入	卒業回	現会員数	納入	卒業回	現会員数	納入
17回	1		32回	20	9	47回	167	87	62回	175	70
18回	2		33回	24	13	48回	168	126	63回	173	77
19回	3	1	34回	29	10	49回	160	100	64回	177	51
20回	1		35回	33	15	50回	174	93	65回	180	74
21回	1		36回	40	8	51回	164	134	66回	185	78
22回	2		37回	30	13	52回	167	91	67回	183	75
23回	4		38回	71	25	53回	187	66	68回	169	72
24回	5	1	39回	52	14	54回	177	72	69回	178	64
25回	8	1	40回	80	30	55回	187	82	70回	179	70
26回	6		41回	80	36	56回	178	77	71回	162	93
27回	6	1	42回	77	23	57回	174	70	72回	177	62
28回	8	3	43回	161	119	58回	164	72	合計	5739	2634
29回	18	6	44回	160	87	59回	184	84			
30回	12		45回	121	65	60回	174	74			
31回	16	3	46回	119	69	61回	186	68			

学年ごとの未納の方をお知りになりたい方は事務局までお申し出ください。

友誼の御園 ～母校だより～



附属の伝統に思う

中学校副校長 壇 泉

昨年4月に伝統ある広島大学附属中学校の副校長を拝命いたしました。永田龍男先生の後任として平成6年4月に着任以来、英語の授業を通して数多くの生徒たちと接することでこの伝統校の歴史の一コマに関わることができたことを無上の喜びと感じております。長い間お世話になった附属への恩返しとして、微力ながらも本校の教育環境改善

のため副校長の職責を全うする覚悟です。

長い歴史を持つ学校は、積年の伝統が醸し出す目には見えない風格と気品を持っています。生徒たちは、日々の学習活動を通してその恩恵を享受し、刺激を受けながら、将来を嘱望される新たな人材として育っていくものと思います。少子化の時代だからこそ、優秀な人材が必要です。「磨けるころは国の光、鍛える腕は国の力」と校歌に謳われるような希望の星を輩出すべく、物心ともによりよい教育環境を作っていきたいものです。

伝統を受け継ぎ、新たな未来の担い手となる後輩たちのため、今後とも先輩諸氏のご支援とご協力をお願い致します。

校舎改修 -3号館-

平成23年7月から始まった3号館の改修は、夏休み・冬休みを経て、今年3月15日に完了した。平成19年の2号館、21年の1号館に続く大型改修で、これで全館改修されたことになる。昭和45年竣工されて40年余り、ほとんど変わらなかった教室配置がこの度の改修で大きく変わったことがお分かりいただけるだろう。

昭和45年当時(『創立百年史』下巻266-7頁)

3階	W C	階段	第1音楽教室	音楽 準	第2音楽教室	家庭 準	試食室	食物教室	W C	渡り 廊下	階段	物理 準	被服教室	洗濯室	中学生 生徒会
2階	W C	階段	渡り 廊下	3A	3B	3C	2A	2B	2C		W C	階段	1A	1B	1C
1階	W C	階段	電話 交換室	工芸教室	工芸 準	美術 準	美術教室	第1技術教室	W C		階段	技術 準	第2技術教室	機械木工室	

改修後(平成24年3月)

3階	W C	階段 エレベーター	中学 進路	3A	3B	3C	被服 準	被服教室	実験室	音楽 準	W C	渡り 廊下	階段	第1音楽教室		第2音楽教室
2階	W C		ホーム ルーター	学年 主任	2A	2B	2C	1A	1B	1C	W C		階段	家庭 準	食物教室	家庭科講義室
1階	W C		中学 生徒部	中学 生徒会	工芸教室	工芸 準	美術 準	美術教室	第1技術教室	W C	階段		技術 準	第2技術教室	機械木工室	

準：準備室

本当にきれいになった。初めて改修後のホームルームに入った時、思わず「おお」と声を上げたほどだ。壁の木目の模様も落ち着く。ただ、全体的に床も壁も薄い色になったので、汚れると目立ってしまう。しっかり掃除して、丁寧に使わなければ。
中村 悠希子
(中学3年(当時)、現高校1年)



授業風景(美術教室)



東側入口(技術教室前)

スーパーサイエンスハイスクールに三たび採択される

平成15年度指定、平成19年度指定に続いて、さらに平成24年度から5年間、スーパーサイエンスハイスクール(SSH)として研究指定を受けた。

今回テーマは「『科学的な知の体系』の習得と、国際的視野や高度な倫理観の涵養を通して、『持続可能な社会』を先導する人材の育成を図る教育課程の研究開発」であり、ひきつづき研究開発にあたっている。

アカシア探険隊

MI・2012(夏)
～自叙伝の巻～



50回 的川 泰宣氏
～JAXA名誉教授
東京アカシア会会長～

私が高校生だった頃

50回 的川 泰宣

中学3年生になり、進学先を決める時期のこと、1年先輩の伊賀健一さん(元・東工大学長)から広大附属が週5日制だと聞き、志望校を広大附属に決めました。

しかし土曜日も日曜日もテニス三昧という私の期待は、裏切られました。入学直後に出場した広島市の国体予選で準優勝したのに、次の週に福山市で開かれる県予選を目前にして、パートナーが出場を辞退。父親から「テニスをさせるために広大附属に入れたわけではない」と叱責されたのが原因でした。県予選に出られなくなった私はすっかりやる気をなくしてしまい、中学時代のテニスのライバルたちが、全国ランキングを駆け上がっていくのを見ただけでした。

そんな私を生徒会に誘ったのは、1年先輩の川瀬博之さんです。テニスの練習にもあまり出ないでブラブラしていた私を、「エネルギーがありそうだ」と思ったそうです。こうして1年生の後半から生徒会の企画委員になった私は、2年時に生徒会長になって以来、ずっと生徒会づけになりました。6日制の廃止に踏み切った森戸辰男広島大学学長(元・文部大臣)相手に、団体交渉もやりました。高校生が権利意識に目覚めていった時代です。安保闘争の前哨戦としての勤評闘争が高校生レベルにも波及しつつありました。「自分たちの力で社会を変える」という社会

性が私のような人間にも芽生え、政治家の立会演説会などにも積極的に参加して議論に加わっていました。生徒会活動は、テニスに打ち込めなかった代償行動だったかもしれませんが、受験勉強一色で過ごす高校生活よりも、濃密で豊かなものでした。

充実した高校時代は、何と言っても「攻学寮」での寮生活のおかげ。当時は呉から広島まで呉線で50分ほど。入学当初は実家から通っていましたが、旧制高校時代の寮生活に憧れていた私は、寮に入りたくてしょうがなかった。そこで一計を案じて、帰宅後に「疲れた、疲れた」とぼやく作戦に出たのです。案の定、私の身を案じた母が寮の存在をつきとめ、1年生の2学期から、念願の寮生活を始めることができました。

寮生は40人ぐらいで基本的には3人部屋。中学生も数人いて、他学年との同居生活はなかなか得がたい経験。入寮直後、いたずら坊主の中学生を体の大きな先輩が捕まえて、2階の窓から逆さ吊りにしたのは度肝を抜かれました。この中学生を深夜、熟睡したところを戸板で風呂場に運んだこともありました。水を抜いた浴槽に寝かせて蓋をし、後は息をこらして待つだけ。目を覚ました彼は驚いて跳び起き、蓋に勢いよく頭をぶつけて大騒ぎ。「目を開けても真っ暗なんだから！」

悪戯の標的にされるのは、舎監の先生も同じ。先生の寝こみを襲い、鼻にエンドウ豆を詰め込んだことがありました。煎って固くなったものを使いま



青春を謳歌する寮生たち(1959年)



P r o f i l e

1942年2月23日広島県呉市生まれ。1960年広大附属高校第50回卒。東京大学・同大学院博士課程、東京大学宇宙航空研究所、宇宙科学研究所を経て、JAXA(宇宙航空研究開発機構)へ。日本最初の人工衛星「おおすみ」は大学院生として、日本最初の地球脱出ミッションであるハレー彗星探査は中堅若手として、最近話題になった「はやぶさ」は対外協力室長として取り組んだ。2008年、NPO「子ども・宇宙・未来の会」(KU-MA)を設立。日本の宇宙活動の語り部であり、「宇宙教育の父」と呼ばれる。現在、JAXA名誉教授、呉市の「やまとミュージアム」名誉館長、横浜こども科学館館長など。東京アカシア会会長。

した。そうかと思えば、深夜、数人で舎監の先生の部屋の床下に潜り込んで、ノコギリやカナヅチで音を立てながら苦しそうな呻き声を発したことも——真夜中にどこからともなく不気味な音が、かすかな振動を伴って聞こえてくるのですからたまりません。被害にあった先生は、翌日は眠くて仕方がなかったはずです。

寮生活では、高校生にあるまじきことも数々ありましたが、舎監の先生方との信頼関係は極めて厚く、「こいつらはこんなことをしていても、大局的には大丈夫」と思われていることが、こちらにはよく分かっていました。若気の至りは誰にでもあるもの。最後は、気持ちのつながりが生命線ということを教えられました。

こんなやんちゃな生活の一方で、本もよく読み、明け方まで意見を戦わせることもよくありました。いくらか背伸びをしつつ、力いっぱい寮生活、高校生活でした。

合唱班 第6回 定期演奏会

日時：2012年8月4日(土)

開場：14:30 開演：15:00

場所：広島大学附属中・高等学校講堂

曲目：ヴィクトリア作曲「15のモテット」より、「fight」、

「信じる」、高野喜久雄作詞・高田三郎作曲「水のいのち」他



管弦楽班 第36回 定期演奏会

日時：2012年8月11日(土) 開場：16:30 開演：17:00

場所：上野学園ホール(旧郵便貯金ホール・ALSOKホール)

曲目：プロコフィエフ：交響曲第7番「青春」 嬰ハ短調全曲、チャイコフスキー：歌劇「エフゲニー・オネーギン」より「ボロネーズ」、バーンスタイン：「ウェストサイド物語」より 他

※会場に駐車場はございませんので、アストラムラインなどの公共交通機関をご利用下さい。

♪ 皆様、是非お越し下さい! ♪ <入場無料>



新郎の栗栖智幸くんに手をとられる新婦役の筆者(左)(1959年)

広大附属は、運動会や文化祭となると、格別に張り切る校風です。われわれは何をやるにもまとまりのある学年で、Ⅲ年生の時の運動会が特に印象に残っています。当時の三好稔(みのる)校長をモデルに、「三好掬(ひねる)の一生」を仮装行列に仕立てた出し物を考えました。三好掬の誕生から始まり、最後は棺桶に入って退場する筋立てでした。演出担当者の指示で、私は先生の結婚シーンでの花嫁役。日焼けした顔にお白粉を厚くぬりたくってメーキャップ。ウェディングドレスは、女子生徒が教室の白いカーテンを引っ剥がして縫い上げ、うまいこと着付けてくれました。出番前に運動場ですれ違った担任の藤原茂先生も、私と気づかない変身ぶり。もっとも翌日にはカーテンの一件がばれて、こっぴどく怒られました。三好校長は生徒に人気があり、仮装行列は大成功。ところがいささかやり過ぎた面もあり、翌年の仮装行列は廃止されてしまったとか。運動会で最も盛り上がる伝統的なイベントだっただけに、後輩たちには申し訳ないことをしたと思っています。

広大附属は、クラブ活動の中でもサッカーだけが突出して強く、校技のようになっていました。体育の授業もサッカーが多かったのです。そうなる、クラスに全国大会レベルの選手が何人もいるのだから、運動神経には自信のあった私もさすがにかないません。後に日本代表となる桑田隆幸は同じクラスで、1年下にやはり日本代表の小

城得達、桑原楽之、船本幸路らがいました。小城や桑原は、釜本邦茂・杉山隆一たちとメキシコオリンピックで銅メダルを獲得したときのメンバーです。

彼らが入ってきた1959年には全国高校サッカー選手権大会で準優勝しています。私は応援団長として西宮球技場でエールを送りましたが、一方では生徒会長として、クラブ活動の整備に乗り出しました。強いサッカー部の予算だけが飛び抜けて多い状態を是正し、部員の数に比例して割り当てようとしたのです。当然のように、サッカー部員や関係者から猛反発をくらいました。でも、私も簡単には引き下がりませんでした。「高校のクラブ活動は勝つためのものではない。サッカー部は強くは伝統もあるのだから、先輩から寄付をもらえばいい」そう言って改革を断行しました。桑田や小城、桑原らが連れ立って私に文句を言いに来たのをよく覚えています。

高校生活を思い出すといろいろなシーンが脳裏に浮かんできますが、やはりあの当時の自分という人間を育てくれたものの中で最も強烈な要素は寮生活ですね。限りなく素敵な体験でした。復活させるべきです。私は今年古稀を迎えました。この歳になって、寮生活で得たものの凄さ、有り難さがしみじみと心に沁み出てきています。広大附属に「学生寮の建設」を進言したいと思っています。

大学に入って専攻を決めたのは2年生の秋です。大学構内は「安保闘争の敗北」という退廃的な雰囲気満ちている中、「自分が生きているのは大きく見てどういう時代なのか」を見つめることが第一と考えました。そこで走馬灯のようによぎっていったのは、幼い頃の瀬戸内の夜釣りや眺めた星ぼし、初めて天体望遠鏡を覗いた時に飛び込んできた月面の陰影を伴った素晴らしい姿、中学生の頃に聴いたペンシルロケットのニュース、高校時代のスポーツニクでした。スポーツニクは肉

眼で見ました。「ああ、自分は人類が宇宙へ進出して行く時代に生を受けているのだ」——この思いが、私に宇宙を選ばせました。天文学もいいと思いましたが、それよりも「進出」ならばロケットや衛星だろうと考え、新設された宇宙工学へ。

そして大学卒業後の人生のほとんどを宇宙分野の現場で過ごしてきました。日本最初の人工衛星「おおすみ」は大学院生として、日本最初の地球脱出ミッションとなったハレー彗星探査は中堅の働き手として、最近大きな共感を呼んだ「はやぶさ」は対外協力室長として、大好きなことを一生懸命にやる生活でした。

でも何か満たされないものがあります。それはやはりこの国もこの星も不幸な人々で溢れていることが原因だと思います。小学校の5年生の頃、「この世のすべての人々が幸せになるといいなあ」と、そういう社会に憧れ、そういう社会にするためにこの身を捧げたいと心から思っていた時代がありました。その頃の気持ちに立ち帰って、今は子どもたちが思い切り輝ける舞台を準備すべく、「宇宙教育」という分野に乗り出しました。これを残りの人生は続けるでしょう。そのためにKU-MA(子ども・宇宙・未来の会)というNPOを立ち上げました。インターネットを覗いて、その活動に興味があればぜひ参集してください。

ではまた、アカシア会でお会いしましょう。



広島から呉まで歩いて帰った時に2級下の野村晋作くん(左)と(1959年)

空気調和、給排水衛生、工業用配管

株式会社 大方工業所

本社 / 〒732-0802 広島市南区大州二丁目15-8
 電話 (082) 282-4301 FAX (082) 286-0603
 E-mail: info10@okata-k.co.jp
 http://www.okata-k.co.jp/
 営業所 / 宇部市・下関市・北九州市 支店 / 福岡市

道後・松山市 シカクいだけでは
 A 8888 ありません。

自動車ナンバープレート及び諸標識製造、グラフィック広告製作・施工
 大正3年創業

巢守金属工業株式会社

広島市南区出島1-34-7 TEL (082) 251-8307

アカシア夜話

アカシアンナイト

番外 (高級官僚を囲む会)



前回(第8話)、故**田中昭男**先生にお話を伺った中で、昭和51年(1976年)7月21日に東京築地の料亭「河庄」で開催された「高級官僚を囲む会」の話がありました。当時の資料が無いものかと事務局の書棚を探したところ、64名の出席者名簿と共に、52枚の写真を貼付したアルバムが出てきました。

今回、そのアルバムの一部を披露させていただきます。また、この会に出席された**栗屋敏信**(35回・元建設省事務次官、元衆議院議員)さん、**川妻二郎**(36回・広島管財(株)会長)さん、**石井泰行**(43回・アカシア会名誉会長、賀茂鶴酒造(株)名誉会長)さんに、当時の様子についてお話を伺いました。



右から2人目が川妻氏

三次官を囲む会…?

甲斐：石井先輩が良く話される「三次官を囲む会(第1話)」がありますが、どうも、会場といい、出席者の顔ぶれといい、この「高級官僚を囲む会」とイメージが重なるような気もするのですが、いかがでしょうか。**石井**：この時点じゃあ3人とも官房長で、次官になるのは3年後じゃね。僕は当時、東京のアカシアで事務局をやっていて、**永野(重雄)**さんから「運輸省の局長をされている方が、広島全日空ホテルの社長になることが内定しているの、分かっているだろうな」と言われた記憶がある。その時は、3人とも次官だったと思うんじゃが…。**甲**：確



宴会の様子



中央こちらを向いているのが石井氏

かに当時、海運局長の**後藤**さんが出席されています。後に、広島全日空ホテルの初代社長になっておられますから、どうもこの会に間違いのないようですよ。**川妻**：僕も**後藤**さんのことは、**藤居**さんから聞いていました。この時の3人の官房長は、次官になられてから、それぞれ単独で広島に来られたりして、その時にシルクプラザで、僕が司会をやったこともあります。**石**：記憶の正確な**川妻**さんが言われるのなら、そうなのでしょうね。僕は、その後も何度か3人を囲んだ会合に出ているので、混同しているかもしれない。**甲**：**藤居**さんが、会費を一桁間違えて集めたというのが、この会だったんですね。64人分で〇万円か…。被るにしては、大金ですね。もう少し不明な点がありますが、後は出席されていた**栗屋**さんに聞いてみます。

誰が代議士になる?

甲：「高級官僚を囲む会」というのが開催されていましたが、経緯はどのようなものだったのでしょうか。**栗屋**：**井内**さん、**田中**さんと僕の三人が、それぞれ近い将来、次官になるであろうことが濃厚なポストに就いたという事が、きっかけだったんだと思う。経済企画庁の官房長というのも、慣例として近々、大蔵次官になるポストです。**甲**：このような会は、度々あったのでしょうか?**栗**：これほど盛大な会は、これだけだったね。その後も、年に1~2度会う事があっても、せいぜい数人規模のものでしたね。

亡くなられた**村上孝太郎**さんは、アカシアとして初めての次官(大蔵省)で、後を我々3人が継ぐことになりました。**甲**：先輩が代議士に立候補されるにあたって、3人で話し合われたのですか。**栗**：文部大臣を経験された**灘尾弘吉**先生が、政界を引退するにあたって、文部省の**井内**さんに声

出席者名簿

●招待者

長倉司郎(27回)衆議院内閣委員会調査室長、後藤茂也(31回)運輸省海運局長、井内慶次郎(32回)文部省官房長、田中敬(32回)経済企画庁官房長、吉岡裕(32回)農林省農林経済局長、栗屋敏信(35回)建設省官房長、故村上孝太郎(25回)('68~'69大蔵省事務次官、参議院議員)令室：久子 令息：倫太郎

●参加者

* 母校関係者
飯島守一 広島大学学長、菊地勇 母校副校長、田中昭男 母校総務部長
* アカシア会員
永野重雄(9回)日本商工会議所会頭、新日本製鉄(株)取締役名誉会長、太田利三郎(10回)日本自動車販売協会連合会長、永野俊雄(12回)五洋建設(株)取締役会長、伍堂(永野)輝雄(14回)日本航空開発(株)会長、山下中(16回)昭和地所(株)社長、上野實義(19回)母校前校長、高須謙一(19回)岡山大学教授、木谷満洲男(22回)日立シガー(株)社長、若林高行(22回)、今堀誠二(23回)広島大学総合科学部長、前川良三(23回)太平工業(株)常務取締役、川添清六(24回)川添税務会計事務所、後藤典夫(24回)日本住宅パネル工業協同組合専務理事、新宅清(24回)シャトー興業(株)取締役、戸井正典(24回)南鹿沼機工社長、藤居平一(24回)藤居銘木(株)社長、最上暢雄(26回)山陽電機工(株)顧問、河上長生(27回)中国電力(株)東京支社長、広藤道男(27回)関東電気通信局健康管理所長、山内芳彦(30回)三井金属工業(株)加藤誠藏(31回)加藤林業(株)社長、千葉諭吉(31回)千葉倉庫(株)社長、青山吉信(32回)日本女子大教授、足立英夫(32回)八州電気(株)、石渡謙(32回)青葉精機製作所取締役、小灘利春(32回)日本水産(株)、曾田和之(32回)曾田教習具制作(株)代表取締役、辻勉(32回)川崎汽船外航定期貨物(株)坪井正(32回)三菱重工(株)中丸九郎(32回)、本田富喜夫(32回)日本軽印刷工業会、吉村敬三(32回)浜松医科大学副学長、米田博(32回)川鉄商事(株)常務取締役、安部匡(33回)三菱銀行、田貝正人(33回)三菱商事(株)高橋真之(33回)昭和運輸(株)田窪佐賀司(33回)朝日学生新聞社取締役、積山浩夫(33回)協同広告(株)副理事、長沼博(33回)長沼商事(株)代表取締役社長、山口信夫(33回)旭化成工業(株)石島晴夫(35回)N H K、岡太昭(35回)繊維高分子材料研究所、玖村敦彦(35回)東京大学農学部助教授、黒木員利(35回)労働省職業安定局、長屋安彦(35回)三井銀行、渡辺寛(35回)日立生産技術研究所、川妻二郎(36回)広島管財(株)取締役社長、尾形(田利)幸雄(40回)中国新聞社東京支社、松林孝昭(42回)松林堂、吉田瑛(42回)立花証券(株)、石井泰行(43回)賀茂鶴酒造(株)東京支社社長、増田高雄(43回)増田兄弟活版印刷所、八幡欣也(47回)山陽電機工(株)専務取締役 以上64名
所属は当時の名簿に従いました

をかけられた。**井内**さんから**田中**さんと共に召集がかかって、3人で会った。誰がやるかと。**井内**さんも**田中**さんも、「僕(わし)はやらんから、お前やれ」と。先輩に押し付けられたとも言えるが、やってみようという気もあったね。**甲**：選挙の年(昭和58年)の春、だったんですね。

編集を終えて

その頃、母校創立から70年を経て、OBの人脈はピークに達していました。招待した側にも、綺羅星といえる方々が並んでおられます。この度、アルバムを見るにつけ、これら先輩方に劣らぬよう、志高くありたいと再認識しました。

編集：甲斐 稔(63回)
編集補：河本良子(63回)

いろいろアカシア情報

◆アカシアサッカー総会及び小城得達氏
褒章祝賀会を7月23日に開催。

代表幹事：先本賢司(71回)

◆アカシアハムクラブ

2年ぶりのOB会を8月に日本アマ無
線連盟主催フィールドコンテストに合
わせて実施予定。庄原市吾妻山ロッジでの
開催準備を進めています。

広島在住幹事：手島由裕(74回)

◆アカシアバレーボールクラブOB会

11月24日(土) 18:30~ANAクラウン
プラザホテル広島にて開催。

お問合せ：陰山秀明(63回)

◆47回生 卒業55周年記念同期会

10月24日(水)を予定

お問合せ：藤井郁子まで

◆49回生 2012年度同期会

11月11日(日) 於賀茂川荘。

お問合せ：倉本戴壽まで

◆68回生 同期会in東京

9月15日(土)を予定し計画中。

お問合せ：河本上総まで

上記は5月中旬に幹事のみなさまより同期会の
予定をお知らせいただいたものです。詳細は各学
年幹事にお問合せください。

地域アカシア会のご案内

地域	会長	事務局	行事予定
東京	的川 泰宣 (50回)	〒105-0013 東京都港区浜松町1-21-5-5F 株業務プロセス研究所 尾籠裕之(56回) TEL03-6809-2237 Eメール ogomori@bplab.co.jp	総会と懇親会 5月と11月
近畿	堀内 重明 (50回)	〒669-1506 三田市志手原920-47 岡 國太郎(57回) TEL079-564-2414 Eメール okakunichan@nifty.com	総会 6月と12月 次回は 12月2日(日)
東海	沖 信一 (55回)	〒442-0884 豊川市光明町2-41-55 佐藤 哲郎(78回) TEL0533-83-0981(FAX兼用) Eメール tetssato@quartz.ocn.ne.jp	総会と懇親会 2月と9月頃
岡山	大本 榮一 (27回)	〒700-8550 岡山市北区山下1-1-13 株大本組内 TEL086-225-5131 大本榮一(27回) Eメール fc-yokote5555@ezweb.ne.jp 横手靖吉(54回)	総会 11月 第2土曜日
広島	吉中 康磨 (50回)	〒734-0005 広島市南区翠1-1-1 広島大学附属高等学校内 TEL082-253-5581	例会は 毎月17日 (原則として)
九州	八木 聖二 (54回)	〒815-0033 福岡市南区大橋3-27-17-704 伊藤哲生(61回) TEL092-552-9300 Eメール 200845t-ito@com.home.ne.jp	総会 10月頃
東北	野尻 久 (33回)	〒980-8578 仙台市青葉区荒巻字青葉 東北大学国際科学 国際高等研究センター 八百隆文(53回) TEL022-795-4400 Eメール yao@cir.tohoku.ac.jp	未定
呉	大之木 精二 (43回)	〒737-0079 呉市上平原町14-33 殿村 礼子(52回) TEL0823-23-9728	次回は 8月12日(日)

広島アカシア会常任幹事会



平成24年6月13日アカシア会館に於い
て下記のとおり常任幹事会が開催され
た。

向井広島アカシア会会長の挨拶に続
き、次の議案が審議、承認された。①平
成23年度決算報告について、②平成24年
度予算について、③役員および常任幹事
の改選について、④その他。会長は向井
恒雄氏(50回)から吉中康磨氏(50回)にバ
トンタッチされることとなった。

その後、月例アカシア懇談会運営につ
いて、学年幹事より報告がなされ閉会と
なった。



左から吉中康磨氏(50回)、向井恒雄氏(50回)

東京アカシア会 平成24年度春季総会・懇親会

初夏を思わせる陽気になった5月19日
(土)、平成24年度春季総会・懇親会が、
東京都千代田区のスクワール麹町で開催
されました。今年度も、母校から古賀一
博校長先生、隠善富士夫高等学校副校長
先生、壇泉中学校副校長先生、またアカ
シア会より向井恒雄会長(50回)に来賓と
してご出席いただき、31回から102回卒
業まで72年間の年次を含む総勢138名の
参加者が集い、盛大に開催されました。

会は例年通り総会からはじまり、まず
は、昨年の秋季懇親会を体調不良で欠席
された的川泰宣東京アカシア会会長(50
回)からご挨拶をいただきました。今回、
的川会長の元気なお姿を拜見し、安心し
た会員も少なからずいたことでしょう。
そして、尾籠裕之事務局長(56回)より、
平成23年度の決算報告と今年度の活動計
画についての説明があり、拍手を持って
ご承認いただいて無事に総会も終了。

続いて、この半年間に亡くなられた17
名の方のご冥福をお祈りし、黙祷を捧げ
ました。



今年度関東進学生のみなさん

そして、待ちに待った懇親会。来賓挨
拶として、まずは古賀校長先生よりコン
ピュータを用いて母校の様子をご紹介い
ただきました。ITを使った母校紹介は
非常に印象的で、広島の地を離れて長ら
く経つ我々にも今の母校の様子が良く伝
わってきました。その後、向井アカシア
会会長からご挨拶をいただいた後は、田
村順一氏(39回)のご発声で乾杯。乾杯を
挟んで隠善副校長先生、壇副校長先生か
らもお言葉をいただきました。

また、会の途中、東京アカシア会の会
員でもある湯崎英彦広島県知事(75回)よ
りお手紙をいただき、司会が代読させて
いただきました。なお、湯崎知事より広
島県が実施している「おいしい!広島県」
のキャンペーンポスターを送っていただ
き、会場内に掲示いたしましたところ、
懇親会終了後、多くの参加者からポス
ターを譲ってくれとの申し出があり、一
枚も破棄することなくお持ち帰りいただ
きました。

会も終わりに近づき、恒例となったお
楽しみ抽選会では、賀茂鶴酒造様、カル
ビー様、広島カーブ様他、飛び込みで多
くの賞品をご提供いただき、多くの出席
者に賞品が行き渡りました。この場をも
ちまして、賞品をご提供いただいた皆様
には感謝申し上げます。

非常に盛況であった懇親会も、お開き



古賀校長より母校紹介

の時間となり、参加者全員が大きな輪に
なって肩を組み、コールアカシアの方々
を中心に校歌斉唱。そして最後に李吳氏
(97回)の音頭で「フリー・フリー・ア・カ
シ・ア!」のコールを会場に響かせ、大
盛況のまま閉会となりました。

その後、こちらも恒例となりつつある
二次会にも大勢の方が参加され、世代を
越えた交流を深めることができたと思
います。

東京アカシア会では、幅広い世代の参
加促進・交流の活性化に向けて秋季懇親
会の準備も進めていく予定です。秋季懇
親会は11月3日の予定です。みなさまの
ご参加を心よりお待ち申し上げます。

文：土本康生(81回)
撮影：中村 英(57回)



的川会長

近畿発

近畿アカシア会 前期総会



今年度の前期総会は、6月3日(日)に大阪第一ホテルにて開催した。今回は母校からの来賓として、校長の古賀一博先生、高校副校長の隠善富士夫先生、そしてアカシア会からは会長の向井恒雄氏(50回)にご出席いただいた。

本総会は例年通り二部制とし、第一部の総会では皇暢子氏(46回)に司会をお願いし、堀内重明会長(50回)の開会挨拶、向井会長の来賓挨拶に引き続いて前年度決算、今年度の活動報告、役員改選等の議事を行った。役員は前役員に加え、新たに光廣直史(96回)、川村美貴(97回)が選任された。その後香川昇氏(38回)に乾杯のご発声をいただき、第二部の懇親会へと入った。

懇親会では古賀校長に「附属学校の

現状と今後」と題する講話をお願いした。耐震工事とエレベーター新設がなされた校舎の写真が表示された瞬間、会場は一瞬どよめいた。SSHなどにおける現役

諸君の活躍紹介の場面では、学生参加者は学園生活を思い出しながら皆で顔をほころばせていた。

毎年恒例の出席者スピーチから司会は皇氏から川村へと代わり、隠善副校長、上野徳恵氏(45回)、初参加の森川勇佑氏(91回)、野中雄太氏(101)、新卒の102回生にスピーチをしていただいた。スピーチの中では上野氏が現役時代合唱班の班長の経験から、今もソプラノで声楽を続けており、七月には東京でリサイタルの舞台に立たれるということで会場一同驚かされた。「若さの秘訣はお腹に力を入れて歌うことです」と氏の元気なお姿にそんな秘訣があったことを知らされた。そうしたことから会場から「次回総会は上野さ

んの歌を聴かせてもらいたい！」との声上がり、その実現に向けてすすめることに。レッツ・シング・アカシアソングとして「開校記念日の歌」「猛球かける」のあと最後は校歌を斉唱し、記念撮影で閉会とした。

6月12日記 川村美貴(97回)

後期総会予定

次回総会は12月2日(日)に開催予定です。当日は上野さんのソプラノミニコンサートも行う予定ですので、今からスケジュールに入れて頂き、是非ご参加をご予定ください。

【前出以外の出席者】

- (38)川本和良、(43)黒田昭夫、宮本眞亘、米澤啓明、(44)春日幸子、山本瑤子、(46)見門忠雄、(50)塚本勝司、(57)岡岡太郎、川上操、森静子、(62)豊島秀郎、(63)尾崎貴恵、勝丸浩之、羽田容子、(64)田頭史明、徳丸義也、(99)伊藤茉莉子、黒川智美、松長由宇子、(101)藤本浩平、(102)植松祐美、大段志織、岡村ひかり、小園理紗、神田笙子、木村ひとみ、清山莉奈、久保貴史、黒西愛、下原直緒、新藤千明、鶴田奈々、戸田千尋、戸村亮、中井郁、中山芽英、永井将貴、長井伊岐、西川舞、村越千恵、村田大雅、渡邊紗恵



102回生のみなさん

東海発

東海アカシア会・豊葦会 総会



2月19日(日)、恒例の東海アカシア会・豊葦会の総会・懇親会を開催、会場はいつものフランス料理「白亜館葵」が当分休館となり、姉妹店の「クラブアッシュ」にしました。今回最高齢の吉本幹彦元会長(41回)から、101回の学生置塩章悟さんまで25人が参加、いつもながら歴史を感じると共に、若返りの息吹が増してくるのを実感します。

総会は、まず会長挨拶と現況報告、引き続き来賓のアカシア会向井恒雄会長(50回)より、本部会長交代のご挨拶、最近の広島と学校のお話、会員へのお願いがありました。佐藤哲郎事務局長(78回)から経過・収支報告の後、いつも写真をお願いしている中村博之前監査役(43回)による記念撮影。

続いて吉本さんのご発声で乾杯し、

開宴、会場は変わりましたが例年にも増して独創的なフレンチを楽しみ、ワイン・ビールを飲みながら、参加者の皆さんから近況報告して頂きました。

今回のトピックスは、写真集「東海アカシア会・豊葦会50年のあゆみ」の完成です。1961年に東海地区にこの会の原型となる附小・附中卒業生の集まりが生まれて50年になるのを機会に、会員達の協力のもと、写真や資料を集めました。手弁当・手作りでその編集・製本に当たって下さった中村さんから、背景と内容のご説明があり、冊子は希望者に実費でお分けし、CD版は参加者全員に配りました。過去から未来への「記憶の共有」に役立てたいとの関係者の熱意と努力に、深い敬意を表します。

今回の初参加は、関東・広島から名古屋に着任の水馬裕子さん(85回)、常連の松本在住大矢文恵さんと仲良しの大谷幸子さん(87回)、弟の章悟さん

と一緒に参加の置塩ゆかりさん(97回)の4人でした。幼子連れの参加で大変だった伊藤康代さん(81回)や一層仕事に張り切る田中奈弥さん(91回)もそうですが、東海地区に落ち着かれそうな若者組が少しずつ増えることを祈っています。

48回からは、花岡正紀さん、林滋さん、兼川徹さん、そして横浜から齋藤翁前会長の同期4人が揃いましたが、若者に負けず皆さんお元気です。本田英夫さん(44回)、坂本利彦監査役(55回)、安田健一さん(59回)、高岡義文さん(64回)、成瀬まり子さん(65回)、服部清美さん(72回)、石田充さん(93回)、森信秀一郎さん(93回)、笹口峻弘さん(100回)からも、趣味やボランティア活動、家族や仕事の状況、今後やりたいことなど、ファミリーなムードの中で次々と語られました。

最後に作曲家の梶幸一朗事務局次長(81回)の指揮で校歌・学生歌を合唱し、夏のビアパーティでの再会を祈念して散会しました。

来年も2月に総会を開催しますので、東海地方在住の皆さんは是非ご参加下さい。学生さんは無料です。

2月20日記 沖 信一(55回)

二梓(1/5頁) 月例版3万円 全国版4万円
お問い合わせ・お申し込みは事務局まで

呉発

「呉アカシア会」地に着いてきました!!



呉在住の附属卒業生の思いが高まる中で昨年5月に結成し、8月7日の第一回例会から始まり、12月3日の第二回例会、本年3月4日呉阪急ホテルで地元呉を中心に31名の方に出席いただき、第三回例会を行いました。呉地区には約330名の卒業生が在住していますが、第三回までに62名の参加があり、東広島、竹原と広島市からの応援参加にぎやかな例会となりました。

初めに大之木精二呉アカシア会会長より「呉アカシア会をこれからも定着させて末永く続けていきたい」とのご挨拶に引続き、全国アカシア会向井恒雄会長より最近の附属の様変わりし

た卒業式の様子についてお話されました。その後、特別講演として80回呉市役所瀧川雅子様より大河ドラマ「平清盛」を初めとして、ドラマや映画のロケ地、大和ミュージアム・鉄のくじら館のある街として全国的に観光名所となりつつある美しい街並みと瀬戸内海のロケスポットとしての呉市の様々な取り組みについてお話がありました。

大ヒットした「男たちの大和」や「海猿」から、昨年グリーンピアせとうちを拠点としてロケし1月からNHKで放映されている「平清盛」をメインに今年公開及び公開予定の「山本五十六」、「この世界の片隅に」、そして大崎下島の御手洗地区をモデルに描かれたアニメ「ももへの手紙」などがあることを改めて知りました。これらの作品のロケ撮影は、歴史の残る街並みと360度どちらを見ても近代建築物のない美しい自然な入江で行われ、地元の方々の献身的な大掃除の協力が

あって自然な形で撮影できたことなどをプロジェクターで説明していただき、美しい古里と瀬戸内の海を実感できました。

乾杯の後は、恒例となった初参加された方の自己紹介がありました。楽しいひとときはアツという間に過ぎ、元応援団長69回榎本良二氏のリードによる「フレイフレイアカシア!!」のオールと、校歌斉唱、記念撮影そして閉会となりました。今回呉アカシア会の進め方について、アンケートを採らせていただき、その結果、年2～3回は開催して話を聞きたいという希望が多かったことから、幹事一同少しづつでも運営方法を改善し、皆様に末永く参加いただける呉アカシア会にしていきたいと思います。次回は8月12日(日)12時～呉阪急ホテルで予定しています。5月26日記 谷田部広志(65回)

第三回呉アカシア例会出席者:

- (38)中西 巖、(43)大之木 精二、藤平 祥子、(46)瀬山 婉子、(47)堀川 重幸、湯浅 純吉、(49)奥村 誠哉、中西 登代子、(50)井藤 壯太郎、向井 恒雄、(51)井之川 義典、近藤 邦夫、(52)殿村 礼子、(54)井門 和俊、竹広 茂子、(58)本田 和徳、(59)渡川 恵子、(61)兼森 均、(65)谷田部 広志、(66)木本 芳弘、寺田 稔、(69)榎本 良二、(73)若山 和久、(75)藤井 貴子、(80)泰田 佳七子、瀧川 雅子、武井 直宏、堀口 悟史、山本 恵理子、(85)栗栖 史匡、(98)大上 真里奈

職域・クラブだより

第48回アカシア医会総会



5月19日、広島アンデルセンにて平成24年度アカシア医会総会が開催されました。平成23年度会計報告などを行った後、湯崎英彦広島県知事(75回)より「広島県医療の未来ビジョン」をご講演いただきました。広島県医療の抱える問題点や今後の課題、そして将来

に向けての明るいビジョンを教えてくださいました。懇親会では、大谷俊彦先生(37回)に乾杯の音頭をとっていただきました。終始、湯崎知事を囲んでスナップ写真撮影行ったりした、和やかな雰囲気で行われ、最後に校歌斉唱と万歳三唱で盛会にて終了しました。出席者は82名でした。

6月9日記 香川直樹(69回)

アカシア歯科医会 総会



3月11日(日)、18時30分よりホテル

JALシティ広島において、アカシア歯科医会総会が開催された。山崎義之(45回)会長の挨拶に始まり竹田茂(70回)専務理事の司会にて会が進行し、鈴木隆子(74回)理事の決算・予算報告及び総会の時期の変更が承認された。今回も、前回同様に歯学部学生も会員として参加した。引き続き河口浩之広島大学大学院歯薬学総合研究科先進医療開発科学講座歯周病態学分野准教授(70回)の、「東日本大震災被災地への支援」と題した被災地での身元確認活動参加報告についての講演があった。その後、植木直之副会長(49回)の乾杯から懇親会へとうつり、各会員が懇親を深めた。最後に校歌斉唱でお開きとなった。 竹田 茂(70回)

TATESHIBA

株式会社 立 芝

アカシア会報に広告を載せませんか?
一枠(1/10頁) 月例版1.5万円 全国版2万円

サッカー班新卒業生
卒業生懇親サッカー大会に参加



去る3月18日、修道・基町・城北・国泰寺・附属の新卒業生対象の懇親サッカー大会に招待されました。広島の高校サッカーは、いくつかの強豪校が中心になっているなか、「同時期にサッカーを通じて知り合い、文武両道で頑張ってきた卒業生に対し、卒業後広島を離れても、同年代の友情や熱い広島への想いを忘れず、今後も各方面で活躍してもらいたい」との主旨で開催されています。楽しく、絆も深まり、開催幹事の修道サッカー部OBの皆さま、そして引率の甲田先生に感謝しております。

7月には、既に日本サッカー殿堂入りされている小城得達先輩(51回)の「藍綬褒章」の受章祝賀会を盛大に開催する予定です。

5月15日 先本 賢司(71回)

コールアカシア・東京
2011年冬のコンサート



12月17日(土)、「文化シャッター・BXホール」(東京文京区春日)で2011年冬のコンサートが午後3時から開催されました。32名がステージに立ち、創立以来初めて歌い手より多い60余名のお客さんの前で熱唱、掛け値なしの大成功でした。

村上處直(43回)団長の挨拶に続き、第1部は日本合唱曲中の名曲と言われる『水のいのち』(作曲 高田三郎)。第2部はパフォーマンスのステージで、新居佐和子先生(二期会会員)と、高谷由美子さん(54回)のソプラノソロ。それに男声団員による二重唱、四重唱のあと、今回の目玉“ティータイム”。第3部はフォーレの『レクイエム』。第4部は混声合唱のための唱歌メドレー『ふるさとの四季』。

コンサートの後はお客様も交え50人以上が近くの中華レストランに集まり、盛大な打ち上げパーティになりました。

した。

昨年は新入会員が沢山入団して大いに活性化が進みました。毎月2回土曜日に都内の学校施設などに集まり練習を重ね、夏と冬にコンサートをしています。今年の夏は7月16日(祝)に「杉並公会堂小ホール」でコンサートを開く予定です。多くの方のご来場をお待ちしています。 上野谷拓也(57回)

同期会だより

アカシア会37回生の現状



平成20年の傘寿祝

37回生は昭和16年入学、昭和20年卒業と対米戦争の開戦の年に入学し、敗戦の年に卒業と云う、戦時色に包まれた中学生活でした。南北2クラスで南組の主任は田中清三郎先生、北組の主任は後に12代校長になられた古賀昇一先生でした。途中編入者が1人入学し名簿では85名になって居りますが転校者が1人居りましたので84名が卒業して居ります。37回生は本年度中に皆84才になりますが、鬼籍に入った者51名で現状は34名が全国に散って居り、全国的なクラス会は平成20年夫婦同伴で傘寿祝を兼ねて行った会が最後でした。東京大阪広島で3月に1度位4~5人集まって老いの愚痴を交して居りますが、口は達者ですが体の衰えをひしひしと感じさせられています。

大谷 正

40回同窓会



5月25日11時から、東観音「う越久」で40回同窓会を開く。昭和19年春13~14才で入学した皆が、今80才をこえてしまった。同期会は今年で最後にすると昨年とりきめたので、各地から集まった者26名。殆んどがかくしゃくとしている。独特の雰囲気です。幹事古川浩君の司会進行によって和やかな談笑が続く。頃合いとなり40回恒例「ハーモニカ独奏」がまの油口上「奇術手品」と

進み、校歌応援歌とつづき、名残を惜しみながらのお開き。 山口 巖

4月10日、41回生初の
「お花見ツアー」の記



旅行社のツアーに参加して41回生6人が、櫻満開の津山城鶴山公園の散策を満喫しました。変哲もない普通のお花見ですが、大規模企画好き戦争世代としては80歳を超えて初のグループ旅行でありました。

久し振り早朝6時出発のバスツアー。集合時間ギリギリ未着2名なるも、遅刻者ゼロで無事に出発。花は寂しく雨天かも~との懸念は杞憂。昨日までは二分咲きだった、と添乗員氏も驚嘆する超満開の桜雪崩でした。

実はご一行のうち2名は、岡山大学の出身だったり、選択制修学旅行制度を活用して60年前この地を訪ねていた、などと岡山県人なみのご当地通ゆえガイド不要!後楽園沿いの桜土手と倉敷民俗エリアも訪問したうえ、3食お土産付きという豪華版。私たち年金暮らし6人組の団体旅行、まさにご満悦でありました。 新井俊一郎

46回生同期会報告



5月19日、46回生の同期会がホテルグランピアで開催されました。32名の参加です。

幹事から去年の東日本大震災に対して、この会から約5万円の義援金を送付したと報告があり、続いて、この一年の物故者4名に黙祷をしました。その後過去の同期会などの様子がスライドやビデオで上映されました。

今回は出席者全員の個性あふれた一言があり、越し方を思い起こしたりしました。今年は後期高齢者となる我等ですが、御年89歳で病気知らずの磯貝英夫先生より、後期は90歳になってからのお言葉、逆に元気をいただきました。

翌日は芸北文化ランドに遠足。ホテル前から一時間30分、さわやかな新緑の季節、山菜採りにワイワイにぎやか、山のご馳走をたっぷりいただき、いくつになってもうれしい遠足、再会を誓いながらのお別れとなりました。

湖尻浩子

**人生最後の合同同期会
52回生が卒業50周年で**



卒業以来、50年ぶりに再会の人がいきました。容貌もすっかり変わり、すぐには名前が浮かばない人も。しかしすぐに懐かしい少年少女の時代が戻ってきました。昭和37年(1962年)卒業のアカシア会52回生が4月28日、広島メルパルクでこれが最後として合同クラス会を開きました。佐々木昂実行委員長らの一年以上まえからの呼びかけと周到な準備により、卒業の半数なんと102人がドタキャンもなく参加です。この間20人が物故者の名簿に入っております。会の冒頭で黙祷を捧げました。

最も遠方からの米ロス近郊在住の野島(旧姓・杉本)弘子さんが、元気に乾杯の音頭。にぎやかな宴が始まりました。ゲストには担任でただ一人ご存命の三上昭三先生。「人生最後といわず、まだまだ続けよう」とお元気に呼びかけ。クラスごとに舞台から近況報告の挨拶、同期会ハワイ旅行の報告など、3時間がたちまち過ぎました。最後に校歌、学生歌を斉唱して閉会です。

一人9千円の会費収入から諸経費支払った残り54,988円は、アカシア会へ寄付させていただきました。同日夜には、1、5組は広島市内の会場で、2、3、4組は宮島へそれぞれ個別クラス会を開きさらに盛り上がりました。

5月10日 谷 明

55回 中学校3年B組クラス会



幼さが残る子もおませな子も同じクラスで共に学び遊んだ中学の3年間、卒業50年を機に4月21日横浜で3年B組のクラス会がありました。担任の三浦泰生先生が亡くなられて13年、44人の級友も40人になりました。当時、反抗期真っ直中にいた友が議論はたまた屁理屈を先生にぶつけていました。でも子供扱いせずどの生徒にも等しく真剣に接してくださいました。今回その中の16人が横浜中華街の聘珍樓に集合で、その前に「赤い靴バス」で市内観光し、幹事の山縣秀司君が事前にルート確認をしてくれてたので時間通りに到着。食事をとりながら仕事を続行の友もリタイアの友も元気で出席できたことを喜び合い、二次会は展望の素晴らしいランドマークタワー70階へ。翌日は藤間説子さんの案内で鎌倉を散策し、1泊2日を満喫。松本洗君が最後まで連絡役となって写真のお世話もしてくれました。

5月27日 樋渡美和子

56回生同期会@横浜



東日本大震災と福島第一原発の事故の影響で去年は中止を余儀なくされた恒例の56回生同期会を、6月2日(土)開港祭りで賑わう横浜市の中心、横浜駅前「崎陽軒本店」にて開催しました。松井坦先生(化学)にもご出席戴き、総勢45名が参加。中華懐石を楽しみなが

ら大いに盛り上がりました。校歌斉唱と記念撮影で仮締めの後、みなとみらいランドマーク・プラザ内のカラオケハウスに場所を移して、39名の大所帯で賑やかに二次会。全員で学生歌、広島高師山男の歌や校歌を熱唱して本締めとなりました。翌3日の日曜日には、有志20名が古都鎌倉を散策。紫陽花は、少しは見られる様になって来たと言う程度でしたが、天候にも恵まれて、足を棒にしながら名所旧跡や自然を満喫しました。 6月5日 山本 修

アカシア58 毎年開く同期会 in 青山



29名の参加での表参道イタリア料理の会から3年、今年は、5月26日(土)同じ青山でも会場はNHKの保養所である青山荘で、なんと40名の参加(岡田俊郎君ご苦勞様でした)で会は始まった。

今年は珍しく初参加の仲間こそいなかったが、ゲストとして先日亡くなった河野照茂君の奥様(集合写真中本義信君の左)に参加してもらった。家で多くを語らない彼でも、アカシアの仲間については結構話していたようで、昔の話を楽しんでいただようだ。会はいつもと同じ何のまとまりもなく賑やかなうちに解散となった。今年の目玉は翌日で、18名の参加で行われた藤岡洋保講師の内容のある説明付きの上野の森建設物散策の会であった。国立博物館など建造物の由来、構造などわかりやすく説明してもらい今までと違った上野公園の見方ができ、有意義なひとときとなった。精養軒のランチもおすすりである。 大辻 明

59回大連ツアー

平成24年5月25日から大連に同期生

株式会社 融合事務所

所属俳優



柳葉 敏郎



勝俣 州和

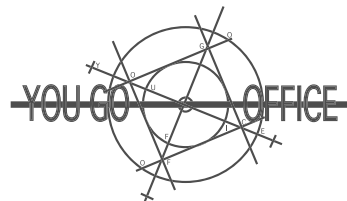


木村 多江



高橋 かおり

代表取締役 宮崎 忠 (66回)



<http://www.yougooffice.com/>

株式会社 融合事務所 〒150-0022 東京都渋谷区恵比寿南1-9-4 長谷川ビル4F

TEL:03-3794-2404



と家族26名で3泊4日59回同期会ツアーを挙りました。今回は当地で仕事をしている大森博美君(1組)と知人の劉君のアテンドで、観光・グルメ・ショッピングの大名旅行を満喫しました。

ちょうど滞在中は大連市の花「アカシア」の満開の時期。白い鈴生りの花から出る甘い香りが我々の旅を一層盛り上げてくれました。旅順(東鶏冠山・水師營・203高地・白山玉塔)大連市内(星海公園・中山広場、旧ロシア・日本人街、アカシア祭り)を観光し、食事は海鮮料理、大連式しゃぶしゃぶ、餃子料理など当地名物料理を堪能しました。夜はローカルのカラオケも楽しみ、夜毎の宴会のフィナーレは附属ソングで結束を深めました。美味しい物を食べ・旨い酒を飲み・笑い・歌い楽しい旅でした。 5月29日 田中文明

アカシア65 福岡・佐賀2日間の旅



65回生恒例の春の合宿。昨年、震災のため延期しましたが、6月2・3日に総勢23名の参加のもと開催されました。まずは、博多に集合し唐津市の虹の松原を通過して呼子で新鮮なイカに舌鼓。伊万里焼窯元を見学して日本三大美肌の湯と呼ばれている嬉野温泉へ。夜は、本宴会・二次会と続き卒業以来の再会となった参加者もあり、皆で約40年前に戻り遅くまで大盛り上がり。

翌日は、柳川で川船下り。イケ面の船頭さんのパフォーマンスとのどかな風景を満喫。また名物の鰻せいろ蒸しを堪能。太宰府に寄り道をして、締めは博多駅の居酒屋で解散会。あつという間の2日間でしたが、天候にも恵まれて楽しい時間を過ごすことができました。 浦上 純彦

第67回卒 もう一度修学旅行

年齢を重ねてくると自然と高校時代を懐かしむことも多くなり、会う機会



がそれとなく増えてきた気がする。フェイスブックで第67回のサイトも立ち上がり、ネット上での交流・情報交換も盛んになった。

卒業して35年という節目の年に記念の同窓会を、との話がどんどん大きくなり、いつの間にやら一泊旅行とあいなった。題して「アカシア会第67回～35年を経て修学旅行再び～」。

3月17日、広島・東京などから33名が名古屋駅に集合。思い出の明治村を散策後、下呂温泉へ。参加者の姿たちに年相応の変化は多少認められたものの、月日が経っても変わらぬ友情にあらためて附属と同級生の素晴らしさを実感。次は還暦記念旅行だ、と新たな楽しみが増えた旅行となった。

6月11日記 大山一成

80回5組 湯浅清治先生を囲む会



3月17日、ひろしま国際ホテルにて、湯浅清治先生の退官をお祝いする会を80回5組のメンバーで開催しました。

急な呼びかけにもかかわらず、「先生のお祝いなら是非!」と遠方からの参加もあり、卒業以来初めて顔を合わせたメンバーも皆、一瞬にして打ち解け、当時の話や先生から聞く今の附属の様子に盛り上がりました。私たちの

学年は、先生に中学の副担任として1年間、高校の担任として3年間お世話になりましたが、先生にとっては附属に赴任して初めて受け持ち、送り出した思い入れの強い学年だそうです。今回、参加できなかったメンバーからは、電報や電子メールでお祝いのメッセージが届き、先生が皆に慕われていたことを改めて実感しました。先生にも喜んでいただき、開催できてよかったです。 三木理恵

93回学年同窓会



1月2日、アンデルセンで6年ぶりの学年同窓会が開かれました。広島を離れている者も多い中、幹事の加登本仁君の声掛けでなんと100人が出席。他回に比べて同窓会の頻度は低いようですが、やるときはやるんです。学年主任の西本眞先生をはじめとする5人の先生方にも来ていただき、にぎやかな会となりました。前回はほとんどが学生でしたが、今は就職や結婚といった人生の大きなうねりのまっただ中にいる私たち。思い出話や近況報告で大いに盛り上がり、校歌を歌って締めました。

その後はあまりの人数の多さにそれぞれの二次会。一部が入った店では隣にも「アカシア会」という札を付けた先輩方と思われるグループがいっぱいいました。声を掛けておけばおごっていただけたのではないかと少し後悔しています。 1月5日 新谷枝里子

計 報

(2012年1月以降判明)

旧教員 早志 幸是 様	平成23年2月12日
旧教員(37回卒) 大坂 昭男 様	平成23年9月21日
旧教員(38回卒) 田村 一郎 様	平成24年1月1日
13回卒 服部 連太郎 様	平成11年12月25日
30回卒 伊藤 隆太 様	平成19年12月
菅野 清一 様	平成24年3月4日
檜山 薫 様	平成24年3月30日
31回卒 赤石 豊 様	平成22年3月21日
34回卒 大片 輝之 様	平成22年4月27日
森田 正英 様	平成20年4月6日
35回卒 坂本 敬三 様	平成24年4月24日
36回卒 峰須賀 喜多男 様	平成24年1月4日
37回卒 浅尾 宏明 様	平成24年1月14日
内藤 大 様	平成23年11月17日
38回卒 村上 五郎 様	平成23年11月30日

39回卒 谷本 琢磨 様	平成23年12月25日
41回卒 城谷 淳三 様	平成24年6月2日
42回卒 山村 正明 様	平成24年1月3日
43回卒 土井(富永)峰子 様	平成23年11月2日
水野(松本)なつ子 様	平成24年6月21日
44回卒 長松 弘明 様	平成23年6月9日
46回卒 加藤(加計)千恵子 様	平成23年8月14日
土井 美明 様	平成23年12月5日
47回卒 今中 直樹 様	平成24年4月12日
49回卒 広岡 貫治 様	平成24年1月11日
52回卒 加藤 泰史 様	平成18年10月5日
坂木 雅典 様	平成24年3月9日
54回卒 佐藤(住田)美智子 様	平成24年3月25日
55回卒 千葉 潔 様	平成24年5月30日
58回卒 沖増 哲夫 様	平成24年3月5日
河野 照茂 様	平成24年4月10日
59回卒 横山 正義 様	平成24年6月6日

謹んでご冥福をお祈りいたします。

釜石からの報告～今こそ叡智を磨く時代

戸井良治(41回、元中高理科教員)

私が釜石に行ったのは昨年11月と12月の2回、計32日間で、最低-7℃最高-2℃の日もあるなか、各地の集会所のお茶っ子サロンでの傾聴(心の想いを聴いてあげる)や手芸・瓦礫除去・写真清拭などに励みました。私が現地を見て一番ショックだったのは「各技術に伴うべき適確な安全性の欠除」「活きている地球に沿って生きる人間の叡智の大切さ」でした。末尾の2冊をぜひ検索して下さい。

被災地救援を共にした若い方にも、想いを綴って戴きました。

城ヶ辻正太郎さん(慶応藤沢2回生)
「私が東北へボランティアに行こうと



流された写真と清拭作業

思ったキッカケは、大学の友達が福島出身だったからです。12月下旬、実際に現地に行って驚いたことは、ニュースであまり報道されていない地域ですら甚大な被害が出ていること、それでもそこに住む人たちがとても元気だったことです。復興への道はまだまだ長いでしょうが、現地の人はずっと歩き続けています。私たちに出来ることは、その歩みが止まらないように、そっと寄り添って肩を貸して一緒に歩いて行くことであると思います」

藤村みちよさん(お告げのマリア修道会)
「悩む私の肩を押したのは“シスター、行って来たら”の一言でした。釜石ベースで11月中旬から2週間、ボランティアの人達の食事作りを担当しましたが、一日だけ大槌小学校での写真の清拭再生作業に行きました。流れ着いたアルバムか



右端が戸井氏

ら救える写真を剥がし薄いけど新しい一冊にします。今は亡き人の貴重な面影です。いまの私に出来ること～それは一人でも多くの人が思いを行動に移すための一歩を踏み出せるよう呼びかけ“大震災を忘れていない”というメッセージを送り続けることだと思います」

- ① 河北新報社「河北新報のいちばん長い日」文芸春秋(新聞協会最優秀賞)。
- ② 現代技術史研究会「徹底研究～21世紀の全技術」藤原書店(編集代表は広島元科学学級5回生、佐伯康治氏)

東日本への関わり

安部 良(76回、建築家)

東日本大震災から1年がたちました。私は昨年、Creative for Humanityのメンバーとして福島市の避難所で子ども達の遊び場と親同士のコミュニケーションの場を創る「子供のかくれが」というワークショップを定期的に開催してきました。仮設住宅への入居が始まってからは「タナプロジェクト」という活動にも参加しています。生活に必要な収納家具をダンボールのキットを使って被災者の方達と一緒に作るワークショップです。生活の向上や自立をサポートし、失われている近所付き合いの場をつくる。必要とされる支援活動の内容は多様に変化して来ています。今年3月に訪れた石巻では「半年前には沢山の人が来てくれたけど最近あまり人が来てくれません。是非また来て下さい」と集会所で皆さんから声をかけられました。昨年訪れた時には道路脇に山積みになっていた瓦礫や津波で破壊された家屋は今ではすっかりと片

付けられて港周辺に集積されています。更地になった街には水たまりができ、そこに海鳥があつまる無人の風景が広がっていました。被災地の人達とのコミュニケーションこそが継続的に必要とされて行く支援ではないかと再認識しました。

今年5月の子供の日には福島県二本松市でCreative for Humanityのメンバーが主催している「屋内の大地」という商店街の空き店舗を利用した室内公園でタナプロジェクトを開催しました。二本松市でも基準値を超える放射線量があちこちで検出されます。屋外で自由に遊ばせてもらえない子ども達は、夢中になって棚を作りながら持て余している想像力を発揮していました。現場で求められている内容に併せた柔軟なサポートが出来るように、それぞれの立場で出来る支援を続けている沢山の人が、お互いに連携を取りながら動いています。

今、私のアトリエでは、石巻市内に



作られる霊園の設計の相談を受けています。近隣の人達が散歩やお花見をするような、日常生活の中で公園のように利用できる場所になると良いなと思っています。人々のコミュニケーションを生み出す事が建築の使命であるように、亡くなられた方々の魂と未来を生きて行く私たちの関係性を考える事も建築なのかもしれません。震災を期にこれまでの枠組みを超えた様々な活動が求められていると日々感じています。

Creative for Humanity
<http://www.creativeforhumanity.com/>
 タナプロジェクト
<http://tana-project.blogspot.jp/>
 屋内の大地
<http://www.bhis.jp/EiA.html>



ヒトにうれしいコト。

これまで、みなさまに「おいしさ」で「うれしい」をお届けしてきた私たち、カルビー。でも、「ヒトにうれしいコト」は「おいしさ」だけではありません。「美しい音色を聴いて、心が潤う」ことも、「素晴らしい絵画を見て、心が動かされる」ことも。私たちの暮らしになくてはならないこと。これからも「ヒトにうれしいコト」を、カルビーから。

握りだそう、自然の力。

Calbee

アカシアライブラリー 寄贈資料の紹介

(2012年1月～5月)

(敬称略・受付順) 太字は寄贈者

資料のご提供ありがとうございます。
吉本憲史(67回)撮影「昭和52年8月31日撮影横山道昭先生写真」データ



S52.08.31母校北東床屋前の空地にて。前列右から2人が横山道昭先生

(67)国崎 実

山野上純夫著「記者生活六十年『ふるさと暦』、「時の言葉」紡いで『サットバ』と共に20年」(38)山野上純夫図録「松浦功(41回)絵画展図録」

(41)松江達樹

美奈杜しづか(室塚あや子・60回)著「義経日記4」「義経日記5」

(60)室塚あや子

アルバム「第30回卒業記念アルバム」

(30)檜山薫ご遺族檜山隆

東海アカシア会・豊葦会編冊子
「東海アカシア会・豊葦会50年のあゆみ(1961～2011)」(43)中村博之



「東海アカシア会・豊葦会50年のあゆみ」より

会報編集委員会

平成24年3月10日(土)アカシア会館にて今年度上半期会報編集会議を開催しました。さらに読者の皆様に喜んで購読して頂ける紙面づくりを目指し、3時間に及び議論しました。

主な議題は、①前年度の問題点に対する反省と対策、②上期月例版掲載計画立案、③7月号全国版掲載計画立案、④新企画の検討。浩然の気、アカシア探検隊、アカシアンナイト、出てもらうてもええかいのお、アカシアカップル、職域・クラブOB会・同期会だより、等引き続き、皆様にご登場いただきますので御協力をよろしくお願ひします。

また、この委員会に参加なされたい方は是非、ご連絡下さい。



後列左より森川真吾(79)、中本泰弘(66)、佐々木隆雄(57)、三隅俊行(66)、前列左より吉野かおり(79)、岩崎純子(69)、大田陽子(74)、寺迫真理枝(77)

アカシア会会員数(1～102回)

(平成24年5月30日現在)(単位:人)

	人数	男性	女性
会員数	15,231	10,357	4,874
現存会員	11,091	6,707	4,384
物故会員	2,983	2,838	145
転居先不明	1,157	812	345



「第30回卒業記念アルバム」より抜粋(右上の写真左端が檜山薫氏)

会報月例版を購読しませんか?

〈会報月例版は年間購読料2,000円〉

7月と1月に会報全国版を全会員の方にお送りしておりますが、それ以外の月にも会報月例版を発行しています。会報月例版は月例アカシア懇談会の報告の他、会員からの情報をタイムリーに掲載、皆様の親睦に役立つ紙面作りを目指していますので、ぜひ購読ください。

〈購読のお申込み〉

アカシア会ホームページ<http://www.acacia100.net/> から、または、お電話(082-253-5581)、Eメールakashia@fuhs.hiroshima-u.ac.jpにてお願ひします。

管弦楽班OB・OG有志 企画

創立110周年記念 オーケストラ演奏会 参加者募集中!!



日時(2015年)・場所・曲目等、検討中です。
アカシア会関係者で参加をご希望の方は、73回南部世紀夫(s-nambu@nifty.ne.jp)宛ご連絡下さい。
定期演奏会のご盛会をお祈りしております。

74回生‘ミニ’同窓会

8月例会後に74回生のミニ同窓会を計画中心!
夏休み!?!に久しぶりの再会を楽しみましょう。

- 月例会は
日時場所:8月17日(金)18時半～於アンデルセン広島講 師:瓜生原(西)葉子さん(2組)
- 同窓会詳細は74回メーリングリストで
ML参加は管理人手島由裕(3組)まで
連絡先 akashia74-owner@yahoogroups.jp

戸川雄介(90回)さんからのご紹介



業務です。開業して今年で3年目となりますが、多くの方々に助けて頂いたおかげです。本当に感謝しております。暑くなると体育祭の練習を思い出します。女子応援団でしたが、渡り廊下や中庭で、ひたすら踊って、汗だくになって、今でも忘れられない思い出です。
④バスケット出身で、司法書士の同期、困ったときには助けてくれる、頼れる後輩です。

①和田 佳江(87回)
②広島市中区
③広島市中区で、司法書士をやっています。不動産・会社登記、裁判業務が主な

自己紹介と、次号登場される方をご紹介します。だくコーナーです。

出てもうって ええかいのよ

会員リレー紹介 64

項目説明

- ① お名前と卒業回数
- ② お住まい
- ③ お仕事、自己紹介、母校の思い出
- ④ 次号登場の方との関係

越智ようこ(70回)さんからのご紹介



ジャズやクラシックをルーツにしなが
も、欧米の価値観におさまらない民族音楽の要素を含んだ演奏をライブハウスやコンサートで繰り返し、その日暮らしをしています。(笑) 思い起こせば、高校時代に大学受験をしなかったのは同年代では私だけでした。
④なんと、久しぶりに再会したミュージシャン仲間の奥さまが附属の後輩だったのです!

①吉野 弘志(63回)
②東京都杉並区
③ウッドベース奏者、東京藝術大学音楽学部器楽科コントラバス専攻6年中退。

♡ビバ!アカシアカップル③♡



夫：後藤 新(69回)
妻：後藤 美佳(69回) 旧姓：村上
1986年6月結婚(26年目)
馴れ初め：高校1年の時、同じクラスになったこと。2年のクラス替えの際、先生の温かい(?)ご配慮で離ればなれにさせていただきました。
アカシアカップルで思うこと：24年前に自治省から赴任した群馬県で2人の子供を育て選挙までやれたのは同級生という絆があったからこそ(?)
夫から一言：奥様へ・・・昨年の知事選では大変苦勞をかけました。政治活動に今しばらくお付き合いのほどを!
妻から一言：わがまま亭主へ・・・選挙はたいがいにして欲しいよー。2人の子供も社会人となり、裁判所の調停委員の仕事にやりがいを感じています。

事務局だより

◆ホームページをご利用ください。
<http://www.acacia100.net/> 月例会をはじめ、各地域アカシア会や母校の行事予定をカレンダーで確認できるようにしました。住所変更などの事務局への連絡にもご利用いただけます。

◆新事務局員あいさつ
転居された寺迫さんを引き継いで、2012年1月より事務局にあります。こちらでは様々な年代や職業の方とお話する機会があり、良い刺激になりますし勉強させていただいていますが、失礼があつては大変と、緊張の毎日でもあります。



どうぞよろしく願いいたします。
吉野かおり(79回)

◆広島大学附属中・高等学校体育祭は
9月8日(土)開催(雨天順延)。



昨年度体育祭風景

アカシア会員ニュース

高上恵里花さん(102回)
演奏会に出演

コジマ・ムジカ・コレギア定期演奏会
日時：8月29日(水)18：30～
場所：アステールプラザ大ホール
(広島市中区古加町4-17)
料金：前売り券
(一般2500円・学生1500円)
問合：高上(重田)尚美さん(71回)まで
(Tel 090-4895-7894)

住所変更はお早めに

アカシア会では名簿の作成に向けて転居された方の住所を確認しています。会報などはヤマトメール便で発送しており、郵便局の転居届では対応できません。転居の際はアカシア会HPの住所変更フォームや、はがき・電話を利用して、お早めに異動をお知らせください。

◆運営会費納入のお願い◆

卒後30年を経過された方には「運営会費納入」をお願いしています。未納の方には払込票を同封していますので、会費1万円を最寄りのゆうちょ銀行よりお振り込み下さい。



福屋八丁堀本店

Faithful & Friendly
皆様の百貨店、Fukuya。

Fukuya



福屋広島駅前店

6月例会レポート

開会挨拶

向井恒雄 アカシア会会長(50回)

東京や近畿アカシア会では現役の学生など若い人の参加が多いので、月例アカシア懇談会にも若い人の参加をお願いしたいと思います。

「宇宙の謎の物質：ダークエネルギーとダークマター」
広島大学学長室特任教授
観山正見氏(60回)



はじめに今年3月まで台長を務めていた国立天文台の施設を紹介したいと思います。皆さんはハワイで星を見たことがありますか？

ふだん星はキラキラしていると思いますが、ハワイでは星がパシッと止まって見えます。これは空気がとても安定しているからです。そのハワイ島の4200mの山頂に口径8.2mの世界最大級の「すばる望遠鏡」があります。また南米チリでは標高5000mの高地に64台の電波望遠鏡アルマを欧米と協力して建設中です。

さて今日の本題ですが、宇宙は137億年前のビッグバン以降膨張を続けており137億光年の広がりを持っています。先ほどご紹介したすばる望遠鏡などによって宇宙の90%以上の星や銀河を観察することができ、これによって宇宙のことがわかったように思われていました。ところが実は私たちが望遠鏡で見ることのできる普通の物質(星や銀河)はわずか4%で、それ以外の96%は見えない謎の物質に支配されていることがわかってきました。

なぜ見えない物質の存在に気付いたのでしょか、それはフォース(力)を及ぼしているからです。光は重力によって曲がります(重力レンズ)。このため遠くの銀河からの光は手前の銀河による重力で曲がって観察されます。しかし観察できる星の数から予測される重力の5倍くらいの力が働いている

ことがわかりました。この重力を及ぼすのに観察できない物質が「ダークマター(暗黒物質)」です。

このダークマターや通常の物質の間には引き合う力(引力)が生じます。このためビッグバン以降の宇宙の膨張にはブレーキがかかり減速的膨張をしていると考えられていました。ところが実際の観察では宇宙は加速的膨張をしていることがわかりました。つまり通常の物質とダークマターによって生じる引力をはるかに超えるなんらかのエネルギー(斥力)が存在することが示唆されました。これを「ダークエネルギー」と呼び引力物質の約3倍存在すると考えられます。

すなわち宇宙は我々自身を構成する普通の物質が約4%、引力は及ぼすが観察できないダークマターが21%、そして宇宙全体を加速しているダークエネルギーが75%で構成されているのです。さらに宇宙の膨張に伴い普通の物質やダークマターの割合は減少しダークエネルギーの占める割合が増加し宇宙の膨張は加速されます。そして50億年から100億年後には宇宙はいくつかに引きちぎられてしまうかもしれません。

ダークマターは新たな素粒子の存在を示唆しているのかもしれませんが。そしてダークエネルギーの存在は物理学を根本的に変えてしまうかもしれません。このようなことが徐々にわかってきているのです。

最後に、時には夜空を見上げて、その先にある大きな宇宙に思いをはせてみましょう。宇宙は大きい、夜空を見上げると大きな問題も少し小さく感じる。星空から勇気ももらって明日の人生をしっかりと生きましょう。

乾杯

尾籠裕之 東京アカシア会事務局長(56回)



東京アカシア会では頻繁に交流しています。今後は広島との交流を進めていきたいと思っています。小瀬和洋(80回)記



卓話の観山氏を囲んで



6月例会出席者(敬称略54名)

- (41)新井俊一郎、菊地日朗、(43)後藤吟子、(44)田中 博、山本正一、(47)村主隆子、(48)中田研一、(49)倉本戴壽、土井田 泰、(50)井藤壯太郎、向井恒雄、(51)上土康弘、山本 健、(53)馬場則行、山手恵正、(55)近森 翠、(56)尾籠裕之、(57)大田順子、清水さえ子、天島純子、(59)三好 新、(60)岩重律子、松井純子、三村政昭、観山正見、(63)甲斐 稔、堤 良子、(66)木本芳弘、田中 泉、(67)高橋浩一、高橋裕子、(71)平野直彦、(74)大田陽子、北本木綿子、高下弘司、鈴木隆子、曾我清子、手島香苗、手島由裕、(76)佐久間由紀子、(79)青山和江、(80)岩田恵一、大上はるみ、沖山二郎、加用雅信、神田 拓、小瀬和洋、泰田佳七子、武田恵理、堀口悟史、三木理恵、山本恵理子、(85)栗栖史匡、(99)伊藤榮子

飲酒は20歳を過ぎてから。

常に品質最高を心がける

本社・醸造課 / 〒739-0011 広島県東広島市西条本町4-31
TEL (082) 422-2121
東京支社 / 〒103-0014 東京都中央区日本橋蛸船町1-12-9
TEL (03) 3668-4111

賀茂鶴酒造株式会社

石井泰行(43)



この一杯は 豊饒の海
君がいて 宇宙が歌って
果てもなく 夢かりたてる
喜びの歌 辛きその日も